

株式会社ダイドーリミテッド

経営管理室

〒101-8619 東京都千代田区外神田三丁目1番16号
TEL.03-3257-5024 FAX.03-3257-5051

株主メモ

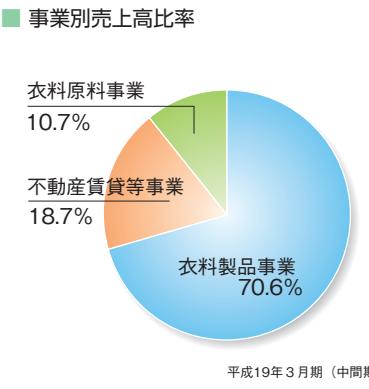
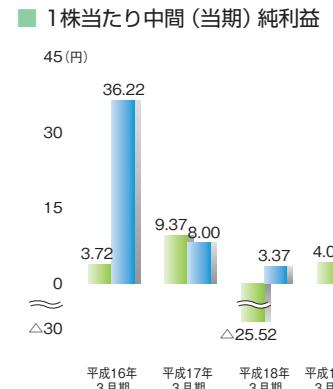
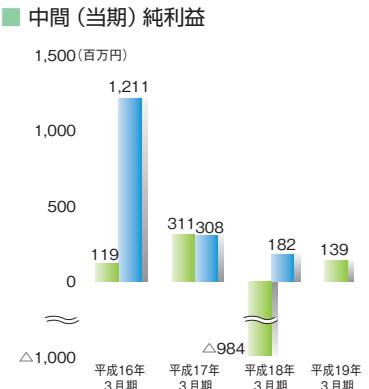
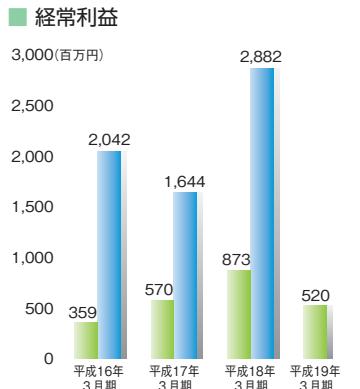
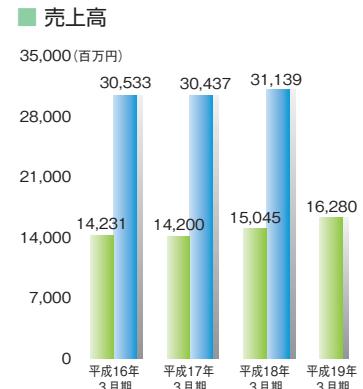
事業年度 每年4月1日から翌年3月31日まで
定期株主総会 每年6月開催
基準日 定時株主総会 每年3月31日
期末配当金 每年3月31日
中間配当金 每年9月30日
そのほか必要あるときは、あらかじめ公告して定めた日
(中間配当金につきましては、第74期以降見送させていただいております。)
単元株式数 100株
株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社
同務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番4号
住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒183-8701
東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) (住所変更等用紙のご請求) ☎0120-175-417
(その他のご照会) ☎0120-176-417
(インターネットホームページURL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiiko/index.html>
同取次所 住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
公 告 方 法 当社のホームページに掲載する
<http://www.daidoh-limited.com/>
ただし、事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行なう
上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
名古屋証券取引所市場第一部



DAÏDOH
FOR HIGHER QUALITY IN LIFE.

株式会社ダイドーリミテッド

通期 中間期



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに第84期上半期（平成18年4月1日から9月30日まで）の営業の概況をご報告申し上げます。

当中間連結会計期間のわが国経済は、原油価格の上昇などの不安定な要因を抱えながらも、円安や低金利基調の継続にも助けられて、大企業を中心とした企業収益の向上や設備投資の堅調により景気は拡大を続けました。しかしながら持続的な景気の拡大にもかかわらず、定期給与の減少や物価の下落が見られるなど過去の景気上昇期には見られない展開となり、このため当業界に最も影響の大きい個人消費需要にはさしたる動意が感じられず、また地域間格差の拡大もあって総じては回復の実感のないままに推移いたしました。

織維・衣料業界におきましても、梅雨明けの遅れのため夏物商戦が伸び悩むなど低調に推移し、百貨店の衣料品売上高も総じて前年割れとなりました。

この中にあって当社は、市場の変化に迅速に対応すべく業種毎の分社グループ経営体制をとり、各社は情報の共有と相互の連携を深め、企業集団としての総合力の強化につとめてまいりました。

当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高は16,280百万円（前年同期比8.2%増）と増加いたしましたが、これは当上半期から衣料製品売上高の計上基準を事業の実態に合わせて変更したことによるものであります。すなわち、従来は販売先への納入（卸売）金額により計上しておりましたが、当期より店頭販売（小売）金額で計上し、この差額を歩合家賃（インショップチャージ）として販売費に計上することといたしました。この結果、売上高と販売費はそれぞれ歩合家賃相当額が増加いたしておりますが、営業利益以降についての影響はございません。

なお、前中間連結会計期間と同基準の売上高は、14,195百万円（前年同期比5.6%減）となりましたが、主な要因は、前連結会計年度にジャルダン株式会社のジャルダンブランドの撤退による減少の811百万円およびファミリーカジュアル事業のカゾックの店舗撤退による売上高の減少201百万円によるものであります。営業利益は織維業界全般に商況不振のなか営業損失105百万円（前年同期は営業利益130百万円）、経常利益520百万円（前年同期比40.4%減）となりました。中間純利益につきましては、前年上半期に特別退職金等の多額の特別損失を計上いたしましたが、当上半期はこの負担がないため139百万円（前年同期は中間純損失984百万円）となりました。

次に当中間連結会計期間の単体業績であります、売上高は2,694百万円（前年同期比3.9%増）、経常利益は1,264百万円（前年同期比15.1%増）となりましたが、連結子会社2社（株式会社ダイドートレーディングおよび株式会社ギーブスアンドホークスジャパン）に対する貸倒引当金および投資損失引当金等を特

別損失に1,148百万円を計上いたしました結果、中間純利益は15百万円（前年同期は中間純損失228百万円）となりました。

なお、平成18年10月1日をもって、株式会社メンズニューヨーカー・株式会社レディースニューヨーカー・株式会社N.Y.クロージング・株式会社パークレイおよび株式会社マイスツーワークを株式会社ニューヨーカーに合併しております。これにより紳士・婦人の一体的組織運営と総合ブランド「ニューヨーカー」としてさらに市場での認知と浸透をはかるとともに、併せて本部機構の簡素化・合理化等を進め、ブランド力の強化を推進するものであります。

さらに、ニット関連事業を統合し製品の企画・生産の効率化のため、株式会社バビー・株式会社パップスおよびジャルダン株式会社が合併し、株式会社バビージャルダンとしてスタートしております。

今後の見通しでありますが、企業収益の増加が主導して日本経済は緩やかながら長期にわたり拡大を続けているものの、家計ベースでは未だ回復実感に乏しい特異なパターンを示しており、増税への懸念や年金問題なども根強く伏在しております。

当社グループといたしましては、厳しい経営環境を冷静に受止めて、『お客様第一』『品質本位』の基本を堅持して、各社がその特色を發揮して市場での地位を確かなものとするとともに、相互の連携と情報の共有化を一層進め、原料から商品企画・製造・販売までを一貫とするグループの特色を発揮して、全社一丸となって収益体質の構築と強化を推進してまいる所存であります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援ご鞭撻のほどお願い申し上げる次第であります。



代表取締役会長



代表取締役社長

羽鳥嘉彌

東越春治

衣料原料事業

毛織物業界におきましては、生産拠点の海外移転に加え流行面でのウール素材離れもあって、国内産地は生産設備の老朽化と人材の高齢化がさらに進行し、長年にわたる不況のために財務の劣化も重なり重要な岐路に立たされております。

当社は生産工場を既に中国に移転をしておりますが、引き続き新品种の開発と品質の向上につとめるとともに、積極的に受注活動を行い安定操業の確保と稼働率の向上をはかってまいりました。また本年2月に締結いたしました株式会社ソト（愛知県一宮市、染色整理業、東京2部・名古屋2部に上場）との業務提携契約により技術者の派遣をうけて、生産品目の拡大につとめてまいりました。

織物販売につきましては、高級梳毛紳士服地を主力とする当社は、スーツ需要の減退に加えて、欧州ブランドの攻勢もあり遺憾ながら前年実績を下回る結果となりました。手編毛糸販売につきましては、下半期におけるニット関連子会社の統合に備えて大幅な在庫処理を先行させましたため、売上高こそ前年同期比で増加いたしましたものの、収益面では大きく後退をいたしましたが、今後の事業運営には大きく資するものでありますのでご理解のほどお願い申し上げます。

以上の結果、当事業の売上高は1,758百万円（前年同期比15.7%減）、営業損失254百万円（前年同期は営業利益9百万円）と大幅な減収減益となりました。



衣料製品事業

当事業におきましては、全社を通じて『お客様第一』『品質本位』の基本を共有し、ブランドの理念を鮮明にして企画提案力の強化をはかるとともに、企画から製造・物流・店頭販売に至る全工程を通じて業務の改善に取り組み、事業としての総合的品質の向上をはかってまいりました。縫製工程につきましては、紳士服全般にかつての低価格一辺倒から高級ゾーンが見直されているため、当社の技術が評価されて堅調に推移いたしました。

「メンズニューヨーカー」ブランドの販売につきましては、昨夏の「クーリビズ」効果の反動もあって中弛みの月はありましたが、スーツ・ドレスシャツ販売の不振をジャケット・カジュアルボトムスがカバーし、また時機を得たジャストシーズン対策とニット等の充実もあって前年同期の実績を確保いたしました。

「ギーブスアンドホークス」ブランドにつきましては、本格的に販売を開始いたしましたが未だ創業期にあり、販売経費が先行し収益を計上できぬ状況にあります。

「レディースニューヨーカー」ブランドの販売につきましては、当上半期は盛夏シーズン後の初秋



に向けたカットソー・ワンピース等の商品を充実させてプロパー売上比率の増加をはかりました。これにより売上総利益率は改善いたしましたものの売上計画は未達となりましたため、販売経費率が増加し営業利益は前年同期並にとどまりました。

ジャルダン株式会社は、前期末をもって百貨店向け婦人ニット衣料事業を廃止し、当期からは他社ブランドのOEM（相手先ブランドによる製造卸）生産に特化いたしております。

以上の結果、当衣料製品事業の売上高は会計基準の変更のため11,661百万円（前年同期比12.2%増）となりましたが、前中期連結会計期間と同じ基準による売上高は9,576百万円（前年同期比7.9%減）となりました。この減少要因は、中国における衣料製品の売上が213百万円増加いたしましたが、ジャルダンブランドの撤退による減少811百万円およびファミリーカジュアル事業の縮小により201百万円減少したことによるもので、売上高減少による売上総利益の減少と経費率の上昇により営業損失387百万円（前年同期は営業損失189百万円）と大幅な減収減益となりました。



不動産賃貸等事業

当事業は、商業施設「ダイナシティ」とオフィスビルの賃貸管理がその主な事業内容であります。「ダイナシティ」は神奈川県小田原市に立地しており、全国的に出店ラッシュが継続しておりますが営業は堅調に推移し、売上高は前年同期の水準を確保しております。しかしながら工場跡地の有効活用として事業を開始してから満13年が経過して修繕費等の経費が増加しておりますため営業利益は若干の減少となりました。他方でオフィス賃貸面積の増加による収入増もあり、売上高3,078百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は前年同期と同額の1,053百万円を計上いたしました。



なお、持分法適用会社2社（株式会社ブルックス ブラザーズジャパン、株式会社リバティジャパン）は堅調に推移いたしました。

中間財務諸表（連結）

Financial Statements

連結貸借対照表（要旨）

科 目		金 額
資産の部		
流 動 資 産		13,939
現 金 ・ 預 金		1,046
受 取 手 形 ・ 売 掛 金		3,328
た な 卸 資 産		7,688
繰 延 税 金 資 産		511
そ の 他		1,368
貸 倒 引 当 金		△4
固 定 資 産		67,210
有 形 固 定 資 産		21,906
無 形 固 定 資 産		579
投 資 そ の 他 の 資 産		44,724
投 資 有 価 証 券		41,749
繰 延 税 金 資 産		107
そ の 他		3,129
貸 倒 引 当 金		△262
資 産 合 計		81,149
負債の部		
流 動 負 債		21,294
支 払 手 形 ・ 買 掛 金		3,152
短 期 借 入 金 (1年以内)		12,012
そ の 他		2,916
固 定 負 債		24,694
長 期 借 入 金		6,251
預 累 延 税 金 負 債		10,985
そ の 他		5,612
負 債 合 計		45,989
純資産の部		
株 主 資 本		28,503
資 本 本 金		6,891
資 本 剰 余 金		9,633
利 益 剰 余 金		16,675
自 己 株 式		△4,697
評 価 ・ 換 算 差 額 等		6,596
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金		6,178
為 替 換 算 差 額 金		418
新 株 予 約 権		13
少 数 株 主 持 分		46
純 資 産 合 計		35,160
負 債 及 び 純 資 産 合 計		81,149

連結株主資本等変動計算書（要旨）

	株 主 資 本					評価・換算差額等			新株予約権	少數株主持分	純資産合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
平成18年3月31日残高	6,891	9,633	17,634	△4,696	29,462	6,392	475	6,868	—	18	36,349
中間連結会計期間中の変動額											
剩余金の配当			△1,046		△1,046						△1,046
利益処分による役員賞与			△48		△48						△48
中間純利益			139		139						139
自己株式の取得			△1		△1						△1
その他			△3		△3						△3
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額（純額）					△214	△57	△271	13	28		△229
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	△958	△1	△959	△214	△57	△271	13	28	△1,189
平成18年9月30日残高	6,891	9,633	16,675	△4,697	28,503	6,178	418	6,596	13	46	35,160

連結損益計算書（要旨）

平成18年4月1日から平成18年9月30日まで							単位：百万円
科 目		金 額					
売 上	業 業	高 用	費 利	益 益	収 費	益 用	16,280
營 業	業 業	外 外	利 利	益 益	利 益	利 益	16,385
營 業	業 業	常 別 別	利 利	益 益	利 益	利 益	△105
經 計	特 別 別	利 利	損 損	失 故	利 益	利 益	941
稅 金 等	調 整 前	中 間	純 利 益	利 益	利 益	利 益	315
人 稅 、 住 民 稅 及 び 事 業 稅	法 人 稅 等	調 整	純 利 益	利 益	利 益	利 益	520
人 稅 、 住 民 稅 等	法 人 稅 等	調 整	純 利 益	利 益	利 益	利 益	4
少 数 株 主	主 持 分	調 整	純 利 益	利 益	利 益	利 益	180
中 間	純 利 益	利 益	利 益	利 益	利 益	利 益	344
中 間	純 利 益	利 益	利 益	利 益	利 益	利 益	87
中 間	純 利 益	利 益	利 益	利 益	利 益	利 益	116
中 間	純 利 益	利 益	利 益	利 益	利 益	利 益	0
中 間	純 利 益	利 益	利 益	利 益	利 益	利 益	139

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

平成18年4月1日から平成18年9月30日まで		単位：百万円
科 目		金 額
営 業 活 動 に よ る キ ャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー		939
投 資 活 動 に よ る キ ャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー		△563
財 務 活 動 に よ る キ ャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー		△1,581
現 金 及 び 現 金 同 等 物 に 係 る 換 算 差 額		△23
現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 増 減 額		△1,228
現 金 及 び 現 金 同 等 物 期 首 残 高		2,275
現 金 及 び 現 金 同 等 物 中 間 期 末 残 高		1,046

ダイドーリミテッドグループ紹介

DAIDOH GROUP

事業活動と主要なグループ子会社

当社グループの連結子法人等は26社、持分法適用関連会社は2社あり、取り扱い品目や顧客は各社により異なっておりますが、グループを通して『お客様第一』『品質本位』の基本を共有して事業運営に当たっております。

販 売	製 造
株式会社ニューヨーカー	大同利美特時装（上海）有限公司 (DAIDOH LIMITED CLOTHING (SHANGHAI) CO., LTD.)
株式会社メンズニューヨーカー	大同佳樂登（馬鞍山）有限公司 (DAIDOH JARDAN (MAANSHAN) CO., LTD.)
株式会社レディースニューヨーカー	株式会社バークリイ (BEIJING NEW YORKER CLOTHING SALES CO., LTD.)
上海紐約服裝銷售有限公司	株式会社マイスツーツクラブ (SHANGHAI NEW YORKER CLOTHING SALES CO., LTD.)
北京紐約服裝銷售有限公司	株式会社ジエイ・ディ・ビジネスクリエイション (BEIJING NEW YORKER CLOTHING SALES CO., LTD.)
新株予約権	株式会社ギーブスアンドホークスジャパン (GIEVES & HAWKES)
新株予約権	株式会社ブルックス ブラザーズ ジャパン (Brooks Brothers)
新株予約権	*株式会社ブルックス ブラザーズ ジャパン 第一ニヨーカーは、新規設立の会社であります。 平成18年10月1日をもって㈱ニューヨーカーに㈱メンズニューヨーカー、㈱レディースニューヨーカー、㈱N.Y.クロージング、㈱バークリイ、㈱マイスツーツクラブを吸収合併いたしました。
新株予約権	株式会社ジエイ・ディ・ビジネスクリエイションは平成18年9月30日をもって解散することが決議されました。

株式会社ダイドーリミテッド

衣料原料事業

製 造・販 売	ミリオンテックス株式会社 株式会社バビー 株式会社パップス 芭貝（上海）毛线編结有限公司 (PUPPY (SHANGHAI)) YARN HAND-KNIT CO., LTD.)	MILLIONTEX-Z S P R I N G O F B E S T Q U A L I T Y
製 造	*株式会社リバティジャパン 大同利美特（上海）有限公司 (DAIDOH LIMITED (SHANGHAI) CO., LTD.)	PUPPY
製 造	大同利美特染整（上海）有限公司 (DAIDOH LIMITED DYEING & FINISHING (SHANGHAI) CO., LTD.)	LIBERTY



PUPPY

不動産賃貸等事業

株式会社ダイナシティ	Dynacity
株式会社ダイードアドバンス	

大同利美特（上海）管理有限公司
(DAIDOH LIMITED (SHANGHAI) MANAGEMENT CO., LTD.)

株式会社ダイドーシェアードサービス

Topics

トピックス

新生ニューヨーカーとして銀座に複合店をオープンしました



メンズは上質な重衣料を中心にカスタムテー
ラーも展開し、レディースはコーディネートを
提案し、スタイリングに欠かせないアクセサリー、
小物、バッグを充実させ、ブランド価値の向上
を目指しております。



9月16日銀座4丁目に紳士・婦人服の旗艦店として「ニューヨーカー銀座店」がオープンし、スコットランドの伝統柄クランタータンを「ニューヨーカー」のシンボルとして、都会でのビジネスマンとキャリアウーマンを中心とした、「ニューヨーカー」スタイルを提案いたしております。



店舗は116坪、館内をモダンでクラシックな
造りにし、夜になるとハウスタークが浮き出
る照明により、通行人にはひときわ目立つ店造
りになっております。

NEWYORKER 銀座店

|住 所| 〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目3番5号
|営業時間| 11:00~20:00

■お問い合わせ
メンズ ☎ 0120-17-0599 レディース ☎ 0120-17-0699

